

◆医師の異動（8月）

医師の異動はありません

◆地域医療従事者研修会のご案内

■第297回 開放型病床生涯教育研修会

日時：平成30年8月9日（木）17:30～19:00
会場：市立長浜病院 講堂
テーマ：血尿の見方～腎臓代謝内科、泌尿器科それぞれの視点から～
講師：市立長浜病院
腎臓代謝内科責任部長 森田 善方
泌尿器科責任部長 横川 竜生
問合せ先：地域医療連携室 電話 0749-68-2300（代表）

■第298回 開放型病床生涯教育研修会

日時：平成30年9月6日（木）17:30～19:00
会場：市立長浜病院 講堂
テーマ：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が考える排泄ケア
講師：大津赤十字病院
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
日下部 桐子先生
問合せ先：地域医療連携室 電話 0749-68-2300（代表）

■第3回感染管理専門コース研修

日時：平成30年8月22日（水）17:45～19:00
会場：市立長浜病院 講堂
テーマ：職業感染防止：針刺し/粘膜曝露・結核・ウイルス性疾患
講師：市立長浜病院 感染管理認定看護師
問合せ先：看護局教育支援室 電話 0749-68-2300（代表）



◆耳鼻咽喉科からのお願い

頸部リンパ節腫脹などでご紹介いただいた患者さんにおいては、生検検査が必要となる方もおられます。抗凝固剤投与を受けておられる患者さんの場合、紹介の際に休薬の必要性の有無についてご教授いただけると幸いです。記載があると、必要時病診予約当日に生検検査を受けただけでもできます。ご協力をお願いします。

◆眼科からのお知らせ

夏季休暇に伴い、診療や処置の制限が生じます。
・清水医師 8月13日～17日夏季休暇
・西村医師 9月10日～14日夏季休暇
(9月13・14日は完全休診です)
8月8日～17日と9月6日～14日までは緊急手術は行いません。緊急時のお受け入れはお断りをさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

◆地域医療連携室からのお知らせ

最終木曜日（8月30日）はシステム調整のため、地域連携窓口業務を17時15分にて終了させていただきます。FAXによる対応は翌朝になります。救急患者様に関しては、救急外来での対応とさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

編集後記

危険を感じる今年の夏です。
今夏の楽しみは、ミントシャンプーとバスソルト。
すっきりとして翌日を迎えたいと思っています。 Pink-Bu



ほっとひととき



莉音

あん

ゴエモン

救急告示病院
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療連携拠点病院
厚生労働省臨床研修指定病院
周産期協力病院
地域医療支援病院

市立長浜病院 地域医療連携だより

理念
地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」
を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

平成30年8月1日号 No.164

市立長浜病院ホームページ

<http://www.nagahama-hp.jp/>

市立長浜病院 検索



市立長浜病院患者総合支援センター 地域医療連携室
〒526-8580 長浜市大茂亥町 313 番地
TEL:0749-65-2720 FAX:0749-65-2730

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。8月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

◆呼吸器疾患の最新治療(ゲノム時代の肺がん治療)について

呼吸器外科責任部長 田久保 康隆



市立長浜呼吸器外科の田久保です。いつも先生方には肺がん患者さんのご紹介等でお世話になり、誠にありがとうございます。今回は非小細胞肺がんの化学療法にしぼってお話いたします。

いまや世界の医療はテクノロジーの進歩がめざましく、このためパラダイムシフトの時代といわれており、ゲノム治療（遺伝子解析に基づく分子機構からの治療）とAI診断（人工知能による臨床判断）の時代に差し掛かっています。呼吸器疾患の治療も例外ではありません。AI診断が実地診療に降りてくるのはまだもう少し先と考えられますが、ゲノム治療は広い意味ではもうすでにこの滋賀県湖北地方の実地診療でも当たり前に行われるようになっていきます。

肺がん治療薬で分子標的薬EGFR TKIであるイレッサという薬は一般の方にもかなり周知の薬となっており、販売よりすでに16年も経過しています。同効薬はすでに4種類ありますが、肺がん遺伝子をゲノム解析してEGFR遺伝子異常のサブタイプで至適なTKIを選択するというのが、肺がん治療においては必須となっています。

臨床判断の標準化均てん化自動化には各学会の定める診療ガイドラインがとても重要です。肺がん診療ガイドラインは日本肺がん学会がほぼ半年毎にアップデートしていますが、まず肺がんの組織生検ありきで、肺がんのドライバー遺伝子（EGFR, ALK, ROS-1, BRAF等）の検索とがん免疫寛容状態の評価（PD-L1の発現頻度：TPS）から、ファーストライン化学療法薬剤を選択するように定められています。その後の治療においても耐性遺伝子検索目的の再生検も必須で、この結果を基に化学療法のシーケンス（使用する薬剤の適応と効果的な順番）が決まります。こういったゲノム時代の治療により10年前は平均生存期間が1年ほどであったIV期非小細胞肺がんも、現在は平均生存期間5年が得られるようになってきています。

近年話題の免疫チェックポイント阻害剤（オプジーボ等）は高価な薬剤であり、そのため製薬メーカーも開発競争を激しく行っており、続々と新薬が販売されています（もうすでに4剤）。これらの薬は目が飛び出るほど高価ですが、その効果も絶大で、IV期肺がんであっても10%の完治が見込まれるようになり、肺がんも不治の病ではなくなりつつあります。

これからも当院呼吸器科では世界の最新治療を絶えずアップデートしていき、最新治療を湖北の患者さんに提供できるよう、日夜勉強に励んでいきます。市立長浜病院に胸部異常陰影の患者さんを気軽にご紹介いただけますと幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

◆8月1日肺の日イベントを開催します

近年、タバコが主な原因となるCOPD（肺気腫）や気管支喘息など慢性の肺疾患は増える傾向にあります。咳や息切れなど症状が出てから心配になって受診されることが多く、病期としてはかなり進んだ状況であることがあります。市民の皆様には肺の疾患に関して広く理解していただき、早期に気づき、受診をしていただけるように、「肺の日」のイベントを実施いたします。イベントでは呼吸器内科医師や慢性呼吸器疾患看護認定看護師に相談していただけるほか、肺年齢測定を実施いたします。昔、タバコを吸っていたけど、今は禁煙しているから大丈夫という方も本当に大丈夫ですか？この機会に本当に大丈夫か確かめにお越しください。また、「禁煙をしたいけど出来ない」や、「一度は禁煙したけどまた吸い始めてしまった」などタバコでお困りの方も禁煙外来を利用して上手に禁煙しませんか？どなたでも参加無料です。ふるってご参加ください。

日 時：平成30年8月1日（水）
9時30分から12時30分まで
場 所：本館エレベータ横

◆湖北がんフォーラム2018を開催しました

湖北がんフォーラム2018を、7月22日（日）に長浜文化芸術会館で開催しました。

本フォーラムは、がんに関する正しい情報提供と啓発をさせていただくことを目的に、2008年から毎年開催しており、今年度も長浜赤十字病院と合同で開催しました。

滋賀県のがんの死亡者数は、昭和56年から脳血管疾患を上回り死亡原因の第1位となっています。

また、厚生労働省の推計によれば、生涯のうちがん罹患する可能性は、男性は2人に1人、女性は3人に1人とされています。一方、がん医療は年々進歩を遂げており、当院においても、がん診療のための専門的な医師・高度医療機器を配置し、手術・放射線・化学療法など効果的な治療を集学的に実施するなど、質の高いがん診療を提供しています。

第1部では、「湖北でできる最新のがん診療」をテーマに、市立長浜病院からは、「高度放射線治療と最新の免疫療法」を中心に、長浜赤十字病院からは、「内視鏡治療・腹腔鏡手術・ロボット手術」について、5人の先生方からご講演をいただきました。



第2部では、「最新のがん診療を支える医療連携」をテーマに、住み慣れた湖北地域で標準的な治療を受けるための仕組みについて、湖北医師会、市立長浜病院、長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院の先生方をパネリストにお迎えして、ディスカッションを行いました。

ホール前のロビーでは、長浜市・米原市、ピンクリボン長浜、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018滋賀医科大学、市民のためのがん治療の会の皆さんが、がん検診の重要性など、がんに関する様々な情報提供をしていただきました。

当日は猛暑にもかかわらず、335人と大勢の方にご参加いただき、大変盛況なフォーラムとなりました。

また、滋賀県健康づくり、健診（検診）啓発マスコットキャラクター「しがのハグ&クミ」が、応援にきてくれました。



滋賀の健康づくりキャラクターしがのハグ&クミ

◆特定看護師・認定看護師のご紹介(ニューフェイス)

看護師特定行為研修修了者 小尾野 恵実

2017年5月8日～2018年4月27日までの約1年間、滋賀医科大学にて麻酔・救急・集中治療コースの看護師特定行為研修を受講し、6区分15行為の修了認定を受けることができました。

研修では、医学の臨床診断プロセスや思考過程を学び、患者さんの医療情報収集から読み取れる問題点を、医学と看護学の類似点・相違点を踏まえながら抽出し、アセスメント・判断を行うといったトレーニングを繰り返しました。

また、特定行為の手技だけでなく、血液ガス分析結果を自分でアセスメントし、補正の必要性を判断することで、人工呼吸器の取り扱い（設定変更）や輸液・薬剤投与関連の投与量調整などに結びつけた特定行為実践を学ぶことができました。

周術期におけるチーム医療のアウトカムが最大となるよう、他職種の専門性を尊重し協働しながら、特定行為を適切なタイミングで、倫理的、且つ、安全に行うことで、周術期全体を通して患者さんの術後合併症の低減に繋げることができると考えています。

今後は、2017年度に取得した「周術期管理チーム」の認定資格も踏まえた周術期の「特定看護師」として、看護の視点で「患者さんを見ること」に加えて、トレーニングした医学の視点で「患者さんを診ること」により、医学的視点と看護的視点を融合した新たな看護展開を目指し活動を行ってまいります。



認知症看護認定看護師 山本 理恵

今年、認知症看護認定看護師となりました山本理恵です。

一言に認知症と言っても病態や症状は様々で、対応する介護者・看護者に疲弊をもたらしたり、時には家族関係を悪くさせたりもします。また、身体症状に併せて入院に伴う環境の変化がせん妄や認知機能の低下をもたらし、入院期間の長期化や新たな合併症をもたらす原因にもなり得ます。

私が担う認知症看護認定看護師の役割は、大きく以下の3つです。

- ①認知症者が今置かれている状況や疾患だけでなく、その人の生活環境、習慣、考え、大切にしてきたものなどの生活史も含めた多角的な視点からアセスメントを行い個別性のある認知症看護を実施すること（実践）
 - ②ケアに問題を抱える看護チームに対して実践を通じた対応の技術や知識の助言、勉強会などの開催（指導）
 - ③看護チームや介護者へのケアアドバイスや支援（相談）
- 当院では認知症対策委員会において多職種からなる認知症ケアチームを構成し、認知症ケア技術の向上に努めています。「せん妄やBPSDで対応に困っている」、「何かしてあげたいけれど何をしたらよいかわからない」などの方がいらっしゃいましたら、3階西病棟に勤務しておりますのでご相談ください。



◆医師体験ワークショップ2018が開催されました

平成30年7月29日に湖北医師会主催の医師体験ワークショップ2018が長浜赤十字病院で開催されました。湖北地域の医師を増やす目的で今回が5回目の開催です。湖北を中心に中学2年生から高校2年生までの学生24人が参加し、腹腔鏡体験・切開縫合体験・心エコー、救命・問診面談の4つのブースで体験しました。協力スタッフは総勢65人で対応しました。「将来医学部に入りたい」という学生が多くいたことに感激しました。



◆第296回 開放型病床生涯教育研修会を開催しました

講師は愛生会山科病院 消化器外科部長・京滋摂食嚥下を考える会 代表世話人の荒金英樹先生で、「地域包括ケアを目指した栄養サポート～京都の試み～」と題しご講演いただきました。

内容は「視点の違い」「壁」をキーワードに、京都の職人や専門職と連携した嚥下食に関する先進的な取り組みで、非常に興味深く楽しい講演でした。多職種連携の重要性や難しさを改めて実感しました。

当日は大雨警報が出る悪天候にもかかわらず、105名の参加がありました。地域からもたくさんの方に参加いただき、関心の高いテーマだと感じました。

